

# ネクタリン

バラ科

参考文献

霜村春菜(2014), 野菜と果物の品目ガイド 野菜ソムリエEDITION, 株式会社農経新聞社  
図説果物の大図鑑, 株式会社マイナビ出版

果実ナビ, ネクタリン, 2021年6月26日閲覧, <https://www.kudamononavi.com/zukan/nectarine.htm> 他

## ○多摩青果の主な入荷情報

	色の基準											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
産地												
福島												
山梨												
長野												

## ○産地情報

山梨：水はけのよい扇状地や暖かい山地斜面といった発達した土地と、長い日照時間を満たす甲府盆地での栽培が盛ん。

長野：国内で最も生産量が多い。主に信濃川に沿った平地で栽培。栽培の歴史も長く、蓄積された栽培技術と肥沃な土壌が相まって良質なものを生産している。

**サマークリスタル** 7月上旬～下旬

長野オリジナルの早生品種。

酸味は少なく、爽やかな味わい。果肉は白い。



**メイグランド** 7月中旬～下旬

小玉で美しい球体が特徴。酸味が少なく、甘味とのバランスが良く食べやすい。果肉は黄色。



**ファンタジア** 8月下旬～9月上旬

アメリカ生まれの晩生品種。

酸味も甘味も強い濃厚な味。果肉は黄色で多汁。



## ○ネクタリンの選び方と保存方法

選び方	果皮が薄く全体に着色し、ハリとツヤがあるもの また、ふっくらして丸みが整っているもの	
保存	生	ポリ袋に入れて、冷蔵庫野菜室で保存
	冷凍	皮を剥き、くし切りにし フリーザーバッグに入れて保存
食べ頃	購入後、お好みのかたさになったら	
追熟方法	日光や風を避け、常温で置いておく	

## ○ネクタリンは桃の仲間

7世紀頃、中央アジア・トルキスタン地方で誕生した、桃の変種。現在、日本やヨーロッパに伝わった在来種は既に消滅している。近年ヨーロッパ系品種が渡来。

黄桃の一種で、見た目はプラムに似ている。

果皮に産毛があるものは桃、無いものがネクタリンとされている。

果肉は、桃のような白色種も存在するが、黄色や赤色が多い。

食味は桃に似ているが、さっぱりとしている。

## ○様々な名前を持つ

和名は「ズバイモモ」。果皮がつややかなことから「油桃」

つばきの実に似ていることから「<sup>つばいもも</sup>椿桃（光桃）」などと呼ばれる。

発行：東京多摩青果株式会社 営業開発部開発課

※2019年現在の多摩青果における各産地の情報とおおよその入荷時期です。気象条件等で実際の入荷状況は異なる場合があります。